科目名【英】	外国語②～中国語～【Foreign Language】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	1学期	曜　日	水曜日	時　限	1限

担当教員	栩野　雅子	実務者経験	

学習内容	中国、中国語に関する基礎知識と基本的な会話表現を学ぶ
到達目標	中国、中国語に関心を持ち、基礎的な知識を習得する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	Jリサーチ出版『旅行中国語会話』、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	本試験　50%　　平常点30%　　出席点　20%

授業計画【内容･目標】		
1	中国語の基礎知識	授業の進め方　中国、中国語に関する基礎知識　簡単な挨拶と自分の名前が言える
2	発音、数字	声調の練習　基本単語の発音練習　100までの数が言える
3	基本フレーズ（1）	教科書の基本フレーズの練習　教科書の基本フレーズが言える
4	基本フレーズ（2）	教科書の基本フレーズの練習　教科書の基本フレーズが言える
5	基本フレーズ（3）	教科書の基本フレーズの練習　教科書の基本フレーズが言える
6	場面別会話（1）	場面別会話に必要なフレーズの練習　「場面別会話編」の基本フレーズが言える
7	場面別会話（2）	場面別会話に必要なフレーズの練習　「場面別会話編」の基本フレーズが言える
8	場面別会話（3）	場面別会話に必要なフレーズの練習　「場面別会話編」の基本フレーズが言える
9	総仕上げ	発音、基本フレーズなどを復習し、定着させる　発表準備
10	総仕上げ	既習表現を使って発表する
11	復習	振り返り・まとめ
12	試験	定期試験

科目名【英】	解剖生理学【Anatomy and Physiology】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：月曜 2学期：水曜 3学期：金曜	時　限	1学期：3限 2.3学期：1限

1.2学期担当教員	坂井　優志	1学期実務者経験	金沢武士団鍼灸整骨院　1年間勤務 まえいけ整骨院　1年半勤務

学習内容	一年時に学んだ解剖学と生理学を紐付けすることで、改めて一つの学問として学ぶ。
到達目標	解剖学と生理学の両分野を統合した医学知識を体系的に説明できるようになる。

準備学習 時間外学習	一年時の解剖学、生理学を復習しておく。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参し受講することが望ましい。

成績評価	小テストの20点＋期末試験80点の合計100点満点評価。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	上肢帯の筋①	上肢帯の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
2	上肢帯の筋②	上肢帯の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
3	上肢帯の筋③	上肢帯の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
4	上肢の筋	上肢の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
5	前腕の筋①	前腕の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
6	前腕の筋②	前腕の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
7	下肢帯の筋	下肢帯の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
8	大腿の筋	大腿の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
9	下腿の筋①	下腿の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
10	下腿の筋①	下腿の筋　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
11	まとめ	
12	試験	

２学期　授業計画【内容･目標】		
1	循環①	【血液総論】血液の組成・造血 解剖生理学の基礎をふまえながら総合的に理解し説明することができる。
2	循環②	【心臓血管系】心臓の解剖・心周期 解剖生理学の基礎をふまえながら総合的に理解し説明することができる。
3	循環③	【血液循環】血管の分類・走行・静脈還流 解剖生理学の基礎をふまえながら循環の全体像を総合的に理解し説明することができる。
4	循環④	【循環調節】心拍数・血圧・調節の仕組み 解剖生理学の基礎をふまえながら総合的に理解し説明することができる。
5	消化器系①	【消化器概論】消化器系とは何か、消化管壁の構造 消化器系の全体像を理解し、構造と機能を総合的に理解し、説明することができる。
6	消化器系②	【口腔・胃】構造と機能 それぞれの構造と機能の違いを理解し、説明することができる。
7	消化器系③	【小腸・大腸】構造と機能 それぞれの構造と機能の違いを理解し、説明することができる。
8	消化器系④	【膵臓・肝臓】構造と機能 それぞれの構造と機能の違いを理解し、説明することができる。
9	生殖器①	【生殖概論・男性生殖器】構造と機能 構造と機能を理解し、説明することができる。
10	生殖器②	【女性生殖器】構造と機能、性周期 構造と機能を理解し、性周期と合わせて説明することができる。
11	まとめ	
12	試験	

3学期 担当教員	杉本　公一郎	3学期 実務者経験	2009年～2015年　医療法人恵登久会　越川病院にて リハビリテーション室　室長として勤務。 2016年　すぎもと鍼灸整骨院を開設。

学習内容	一年時に学んだ解剖学と生理学を紐付けすることで、改めて一つの学問として学ぶ。
到達目標	解剖学と生理学の両分野を統合した医学知識を体系的に説明できるようになる。

準備学習 時間外学習	一年時の解剖学、生理学を復習しておく。
使用教材	配布プリント
留 意 点 備　　考	副教材として解剖生理学の教科書を持参し受講することが望ましい。

成績評価	期末試験による100％評価

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	神経の機能と構造	神経の機能や構造、活動電位、興奮伝導や伝達について学び、それらを説明できるようになる。
2	中枢神経について①	大脳と間脳について学び、それらを説明できるようになる。
3	中枢神経について②	脳幹と脊髄について学び、それらを説明できるようになる。
4	末梢神経について①	脳神経について学び、それらを説明できるようになる。
5	末梢神経について②	脊髄神経について学び、それらを説明できるようになる。
6	自律神経について①	交感神経と副交感神経について学び、それらを説明できるようになる。
7	自律神経について②	自律神経の中枢と関連する反射を含めて学び、それらを説明できるようになる。
8	運動	運動の伝導路について学び、それらを説明できるようになる。
9	感覚	感覚の伝導路について学び、それらを説明できるようになる。
10	特殊感覚	味覚、嗅覚、聴覚、平衡感覚、視覚について学び、それらを説明できるようになる。
11	試験	試験
12	予備日	試験の振り返り・鍼灸実技（テーマ：神経）

科目名【英】	病理学概論【Outline of Pathology】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	1.2学期	曜　日	月曜	時　限	1限

担当教員	森　誠司	実務者経験	2003年　米国カリフォルニア大学 デービス　研究員 2006年　米国テキサス大学MDアンダーソン癌センター　研究員 2007年　大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　助教 2008年　大阪大学大学院医学系研究科　特任助教 2014年　大阪大学大学院医学系研究科　特任准教授 2016年　大阪大学大学院医学系研究科　招聘教授 2016年　森ノ宮医療大学保健医療学部　教授

学習内容	病理学は「病の理（ことわり）」であり、どのようにして病気がおこるかを形態学的手法を用いて研究する学問である。形態学のもならず、生理学、生化学などの総合的な知識を用いて病気のおこるメカニズムについて講義する。
到達目標	病気の成り立ちを十分に理解し、その知識を将来臨床の場で生かせるようにする。

準備学習 時間外学習	各々の講義項目は関連しており講義毎に復習をし、その復習による知識をふまえて次回の講義の予習を行う。
使用教材	医歯薬出版 病理学概論第2版
留意点 備　考	なし

成績評価	期末試験で評価

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	病理学とは、 細胞傷害①	細胞障害と適応ー肥大、過形成、化生、萎縮 細胞の適応について理解でき、適応の種類を説明できる。
2	細胞傷害②	壊死（凝固壊死、融解壊死、壊疽） 細胞死について説明できる。
3	細胞傷害③	壊死（類線維素壊死、脂肪壊死）、アポトーシス 壊死とアポトーシスの相違を説明できる。
4	代謝障害	変性、尿酸代謝障害、カルシウム代謝障害、色素代謝障害、鉄代謝障害、糖代謝障害、老化 細胞・組織の変性と代謝障害を理解できる。細胞の老化について説明できる。
5	炎症①	急性炎症、慢性炎症 急性炎症と慢性炎症の病理学的（形態学的）特徴を説明できる。
6	炎症②	炎症の転帰、炎症の種類 炎症の転帰と炎症の種類を説明できる。
7	組織の再生と修復	創傷治癒、異物の処理 組織の修復について細胞傷害と炎症との関連が理解できる。異物に対する生体の反応機序を説明できる。
8	循環障害①	組織・リンパ液の循環障害（浮腫）、充血とうっ血、出血 浮腫の原因を病理学的に説明できる。充血とうっ血の相違を理解できる。出血の種類を説明できる。
9	循環障害②	血栓症、塞栓症 血栓形成因子を理解できる。血栓の種類、転帰を説明できる。塞栓の源と閉塞する血管を説明できる。

10	循環障害③	梗塞、循環ショック、高血圧症 塞栓の種類を説明できる。循環ショックの種類を説明できる。高血圧症の分類を説明でき、高血圧症の合併症も説明できる。
11	振り返り・まとめ	これまでの講義内容を振り返り、全体像を俯瞰しつつ、要点を整理し理解を深める
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	免疫異常①	免疫の仕組み；自然免疫と獲得免疫（液性免疫、細胞性免疫）、 免疫の仕組みが理解できる。
2	免疫異常②	免疫系細胞、抗体、メディエータ 免疫に関わる細胞、分子、メディエータを説明できる。
3	免疫異常③	過敏症（即時型（I型）過敏症・細胞傷害型（II型）過敏症、過敏症（免疫複合型（III型）過敏症・遅延型（IV型）過敏症、原発性免疫異常・後天性免疫異常 各型の過敏症の機序を理解し説明できる。免疫不全症の機序を理解し説明できる。
4	感染症	新興感染症と再興感染症、感染症と起炎微生物 感染症の発生機序と起炎微生物について説明できる。
5	腫瘍①	腫瘍とは、腫瘍の分類、良性腫瘍と悪性腫瘍 腫瘍の定義と分類が説明できる。良性腫瘍と悪性腫瘍の相違が説明できる。
6	腫瘍②	良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴（分化度と退形成・増殖速・局所浸潤・転移度） 良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴を説明できる。
7	腫瘍③	癌の病期、早期癌と進行癌、腫瘍の発生病理、癌の疫学、発癌性物質 癌の病期を説明できる。腫瘍の発生機序を理解し説明できる。
8	先天異常①	遺伝性疾患；メンデルの法則に従う疾患 メンデルの法則に従う遺伝性疾患の遺伝形式を理解し説明できる。
9	先天異常②	遺伝性疾患；細胞遺伝学的疾患、奇形 染色体異常症の発生原因を説明できる。奇形の種類、発生原因を説明できる。
10	栄養および環境による疾患	環境要因および栄養障害による疾患 環境要因および栄養障害による疾患を説明できる。
11	振り返り・まとめ	これまでの講義内容を振り返り、全体像を俯瞰しつつ、要点を整理し理解を深める。総括。
12	試験	試験

科目名【英】	臨床医学総論①【Clinical Medicine in General】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：木曜 2学期：月曜 3学期：水曜	時　限	1学期2限 2学期3限 3学期1限

担当教員	真田 浩二	実務者経験	2000年4月～2002年3月　鍼灸院に所属 往診および鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約5回小テスト実施。期末試験80％＋小テスト20％で評価。再試験は試験100％、小テストは含まない。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	導入	基礎医学と臨床医学。臨床医学総論と各論。授業の進め方と試験・評価。
2	診断学概要	診察の意義　診療のプロセス　診察の概要　診察の方法 身体診察【身体診察の進め方　身体診察の方法　生命徴候】
3	診断学 全身状態の診察1	顔貌の診察と関連疾患【先端巨大症・下垂体腺腫・副腎皮質の疾患1】
4	診断学３	顔貌の診察と関連疾患【副腎皮質の疾患2】
5	診断学４	顔貌の診察と関連疾患【甲状腺の疾患】
6	診断学５	顔貌の診察と関連疾患【破傷風・パーキンソン病1】
7	診断学６	顔貌の診察と関連疾患【パーキンソン病2】 精神状態の診察と関連疾患【意識状態・感情・協調性・見当識・知能】
8	診断学７	精神状態の診察と関連疾患【アルツハイマー型認知症・脳血管性認知症・レビー小体型認知症】
9	診断学８	精神状態の診察と関連疾患【ピック病・進行性核上性麻痺・球麻痺・梅毒1】
10	診断学９	精神状態の診察と関連疾患【梅毒2】
11	試験説明 診断学10	精神状態の診察と関連疾患【クロイツフェルトヤコブ病】 体格の診察と関連疾患　巨人症【マルファン症候群・大動脈瘤】
12	試験	1学期試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	診断学11	体格の診察と関連疾患巨人症【大動脈解離・ホルネル症候群・反回神経麻痺】
2	診断学12	体格の診察と関連疾患　巨人症【心臓弁膜症】
3	診断学13	体格の診察と関連疾患　巨人症【心不全・リウマチ熱・心房細動】
4	診断学14	体格の診察と関連疾患　巨人症【大動脈解離・ホルネル症候群・反回神経麻痺】
5	診断学15	体格の診察と関連疾患　巨人症【心臓弁膜症】
6	診断学16	体格の診察と関連疾患　巨人症【心不全・リウマチ熱・心房細動】
7	診断学17	体格の診察と関連疾患　巨人症【動脈硬化症・大動脈炎症候群】 体格の診察と関連疾患　小人症【下垂体機能低下症】
8	診断学18	体格の診察と関連疾患　小人症【ターナー症候群・軟骨無形成症・くる病/骨軟化症】
9	診断学19	栄養状態の診察と関連疾患　肥満【インスリノーマ・クラインフェルター症候群】 栄養状態の診察と関連疾患　るいそう・やせ
10	診断学20	栄養状態の診察と関連疾患　るいそう・やせ【甲状腺ホルモン過剰・アジソン病】
11	試験説明 診断学21	栄養状態の診察と関連疾患　るいそう・やせ【褐色細胞腫】
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	診断学22	体位/姿勢の診察と関連疾患【気管支喘息】
2	診断学23	体位/姿勢の診察と関連疾患【髄膜炎・頭蓋内圧亢進】
3	診断学24	体位/姿勢の診察と関連疾患【髄膜刺激症状】 歩行の診察と関連疾患【バージャー病・閉塞性動脈硬化症】
4	診断学25	歩行の診察と関連疾患【下垂足/尖足・筋ジストロフィー】
5	診断学26	歩行の診察と関連疾患【多発性筋炎/皮膚筋炎・膠原病】
6	診断学27	歩行の診察と関連疾患【重症筋無力症・発育性股関節形成不全】
7	診断学28	歩行の診察と関連疾患【レイノー現象・運動失調1】
8	診断学29	歩行の診察と関連疾患【運動失調2・脊髄小脳変性症・多発性硬化症】
9	診断学30	言語の診察と関連疾患【失声症・構音障害・失語症】
10	診断学31	皮膚・粘膜・皮下組織の診察と関連疾患【貧血・ショック】
11	試験	3学期試験
12	試験振り返り 診断学32	皮膚・粘膜・皮下組織の診察と関連疾患【敗血症・チアノーゼ・ファロー四徴症】

科目名【英】	臨床医学各論① 【Clinical Medicine Part】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	木曜日	時　限	1限

1学期 担当教員	山口　隆平	1学期 実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）
2・3学期 担当教員	今井　亜里紗	2・3学期 実務者経験	2020年4月～2026年3月　鍼灸院に所属

学習内容	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念・疫学・病因・病態生理・症状・診断・治療などをそれぞれ理解する。
到達目標	臨床の場において、実際に活用できるレベルかつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とする。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】臨床医学各論、配布資料
留意点 備　考	

成績評価	定期試験70％＋小テスト30％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	感染症	総論　細菌感染症〔猩紅熱・百日咳・ジフテリア・破傷風〕
2	感染症	細菌感染症〔ブドウ球菌感染症・細菌性食中毒・細菌性赤痢・コレラ・腸チフス・パラチフス〕
3	感染症	ウイルス感染症〔インフルエンザ・麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎〕
4	感染症	性感染症〔梅毒・淋病・性器クラミジア感染症・エイズ〕
5	膠原病	リウマチ　SLE　全身性硬化症
6	膠原病	ベーチェット病～血清病
7	代謝性疾患	糖代謝異常　脂質代謝異常
8	代謝性疾患	尿酸代謝異常　その他の代謝異常
9	その他の領域①	婦人科疾患〔子宮頚癌・子宮体癌・乳癌・更年期障害・月経異常〕
10	その他の領域②	眼科疾患〔結膜炎・角膜炎・麦粒腫・白内障・緑内障・眼精疲労〕
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	呼吸器1	呼吸器系の解剖生理学の言葉を列挙できる。 呼吸機能について説明できる。
2	呼吸器2	呼吸器【呼吸器感染症】 呼吸器系に起きる感染症について説明ができる。
3	呼吸器3	呼吸器【閉塞性・拘束性呼吸器疾患】 COPDや拘束性呼吸器疾患について説明ができる。
4	呼吸器4	呼吸器【肺がん】 肺がんについて説明できる。
5	内分泌1	内分泌器官のフィードバック機構について説明ができる。
6	内分泌2	内分泌【下垂体疾患】 クッシング病、先端巨大症・巨人症について説明ができる。
7	内分泌3	内分泌【下垂体疾患】 下垂体性低身長症、尿崩症について説明ができる。
8	内分泌4	内分泌【甲状腺疾患】 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎について説明できる。
9	内分泌5	内分泌【副腎疾患】 副腎皮質機能亢進症、原発性アルドステロン症について説明ができる。
10	内分泌6	内分泌【副腎疾患】 副腎皮質機能低下症、褐色細胞腫について説明ができる。
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	腎・尿器疾患	腎臓と副腎の解剖生理
2	腎・尿器疾患	原発性糸球体腎炎〔糸球体腎炎・腎不全〕、性感染症
3	腎・尿器疾患	腫瘍性疾患〔腎腫瘍・膀胱がん〕、前立腺疾患〔前立腺肥大・前立腺がん〕、結石症〔腎・尿路結石〕
4	腎・尿器疾患	男性不妊症〔乏精子症・精子無力症〕、男性性機能〔勃起障害〕
5	神経疾患	脳血管疾患〔脳梗塞・脳出血〕、認知症〔アルツハイマー・脳血管型認知症〕、感染性疾患
6	神経疾患	脳・脊髄腫瘍〔脳腫瘍・脊髄腫瘍〕、基底核変性疾患〔パーキンソン病〕
7	神経疾患	筋疾患〔重症筋無力症・筋ジストロフィー〕、運動ニューロン疾患〔筋萎縮性側索硬化症〕
8	神経疾患	末梢神経性疾患〔ギランバレー症候群・上肢と下肢の神経障害・末梢性顔面神経麻痺〕
9	神経疾患	神経痛〔三叉神経痛・肋間神経痛・坐骨神経痛・後頭神経痛〕、機能性疾患〔頭痛〕
10	復習	腎・尿器疾患と神経疾患の復習
11	試験	試験
12	試験解説・まとめ	試験解説とまとめ

科目名【英】	臨床医学各論② 【Clinical Medicine Part】			必修/選択	必須	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	3学期	曜　日	金曜日	時　限	3限目

担当教員	嶋田　琢磨	実務者経験	2010年～2012年：鍼灸整骨院に勤務し鍼灸治療を行う 2020年～：訪問鍼灸院を開業し鍼灸治療を行う

学習内容	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念・疫学・病因・病態生理・症状・診断・治療などをそれぞれ理解する。
到達目標	各整形外科疾患を理解し、はり師、きゅう師国家試験の問題から正しい解答を選ぶことができる。

準備学習 時間外学習	解剖学、生理学の復習を行うこと
使用教材	【教科書】臨床医学各論、配布資料
留意点 備　考	特になし

成績評価	定期試験100％で評価する

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	整形外科疾患①	総論〔保存的治療と手術的治療・画像診断〕 関節疾患〔関節炎・関節の可動域の異常・五十肩〕 各関節疾患の特徴を説明できる。
2	整形外科疾患②	関節疾患〔変形性関節症〕筋・腱疾患〔筋肉炎・筋膜炎・腱鞘炎〕 各関節疾患、各筋・腱疾患の特徴を説明できる。
3	整形外科疾患③	骨代謝性疾患、骨腫瘍〔骨粗しょう症・くる病・骨軟化症・骨腫瘍〕 形態異常〔先天性股関節脱臼・斜頚・側彎症・外反母趾・内反足〕 各骨代謝性疾患・骨腫瘍、各形態異常の特徴を説明できる。
4	整形外科疾患④	脊椎疾患〔椎間板ヘルニア・後縦靱帯骨化症・脊椎分離症・脊椎すべり症〕 各脊椎疾患の特徴を説明できる。
5	整形外科疾患⑤	脊椎疾患〔頚部変形脊椎症・腰部変形性脊椎症・頚部脊柱管狭窄症・腰部脊柱管狭窄症〕 各脊椎疾患の特徴を説明できる。
6	整形外科疾患⑥	脊椎疾患〔腰痛症・頚椎捻挫・むちうち損傷〕 脊髄損傷〔脊髄損傷〕 各脊椎疾患、脊椎損傷の特徴を説明できる。
7	整形外科疾患⑦	外傷〔骨折・脱臼〕 各外傷の特徴を説明できる。
8	整形外科疾患⑧	外傷〔捻挫・スポーツ外傷障害〕 各外傷の特徴を説明できる。
9	整形外科疾患⑨	その他の整形外科疾患〔胸郭出口症候群・頚腕症候群・頚肩腕症候群・ガングリオン・手根管症候群〕 その他の各整形外科疾患の特徴を説明できる。
10	整形外科疾患⑩	末梢神経性疾患〔圧迫性および絞扼性ニューロパシー〕 各末梢神経疾患の特徴を説明できる。

11	試験	試験
12	試験解説・まとめ	試験解説とまとめ

科目名【英】	リハビリテーション医学①【Rehabilitation Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	3学期	曜　日	水曜	時　限	2限

担当教員	中山　伸治	実務者経験	1985年～大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする

学習内容	リハビリテーション医学における基礎を学ぶ。
到達目標	障害学・評価を基礎として、リハビリテーションでの治療法を学ぶ。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】新版　リハビリテーション医学
留意点 備　考	

成績評価	本試験100%

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	リハビリテーション医学の概要①	リハビリテーション医学・医療とは？　理念・目的・歴史
2	リハビリテーション医学の概要②	生活機能分類、障害とは？
3	リハビリテーション医学の概要③	リハビリテーション医療（急性期、回復期、生活期に）ついて
4	リハビリテーション医学の概要④	リハビリテーションチーム医療とは？
5	リハビリテーション医学の概要⑤	地域リハビリテーションとは？
6	リハビリテーション医学の概要⑥	リハビリテーション診断と評価とは？
7	リハビリテーション医学の概要⑦	リハビリテーション診療の流れ（診断・評価からゴール設定と意思決定）について
8	診断・評価	検査・測定（形態計測、筋力テスト、関節可動域テスト、整形外科的検査法など）について
9	治療学①	運動療法、物理療法、作業療法言語聴覚療法とは？
10	治療学②	補装具（義肢について）、装具の目的と役割について、自助具・福祉用具とは？
11	まとめ	ふり返り・まとめの講義
12	定期試験	定期試験

科目名【英】	衛生学・公衆衛生学② 【Hygiene・Public Health】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	2学期	曜　日	木曜	時　限	1限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	わが国では、近年衛生状態および栄養状態の著しい向上と予防医学・治療医学の進展によって、公衆衛生学上の諸条件は整備されてきている。しかし他方では、環境汚染の拡大や社会的不安の増大など多様な問題が浮かび上がってきている。このような時代に即して、健康な生活を進めるには何が必要か、生活環境を、物理的、化学的、生物学的社会因子として考察し、その中の障害因子と疾病との関わりについて学ぶ。各社会集団における健康をめぐる問題点、健康を守るための社会的なシステムを学ぶ。地域、学校、産業、老人、母子など各分野での衛生、保健上の諸問題について理解を深め、衛生行政の仕組み、衛生統計、分野別保健、健康増進、環境衛生について学ぶ。
到達目標	わが国の社会情勢および保健統計についてその現状を理解し、また医療従事者として必要な衛生環境を理解し実践できる水準に達すること。かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達すること。

準備学習 時間外学習	講義後、講義で得た要点を『衛生学・公衆衛生学第2版』にて復習する。
使用教材	『衛生学・公衆衛生学第2版』鈴木庄亮、公益社団法人東洋療法学校協会 編集　（医歯薬出版） 『ライフスタイルと健康』森本曩　著(医学書院) 『国民衛生の動向』(厚生統計協会）
留意点 備　考	講義中、まとめとしてはり師きゅう師国家試験で過去に出題された問題に触れる。

成績評価	期末試験80%　小テスト20%で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	第7章母子保健	[到達目標]妊産婦と乳幼児の保健管理の課題について理解する。母子保健行政について理解する。我が国の母子保健の水準について説明できる。母子保健行政の具体例について説明できる。
2	第8章　成人・高齢者保健	【到達目標]高齢者保健の現状と問題点について理解する。 介護保険の対象者について説明できる。
3	第9章　感染症とその対策	[到達目標]感染症の3要因、感染源・感染経路・感受性の宿主の種類を理解する。 感染症新法に基づく分類1類～3類まで説明できる。
4	第9章　感染症とその対策	[到達目標] 感染症の3要因、感染源・感染経路・感受性の宿主の種類を理解する。 感染症新法に基づく分類1類～3類まで説明できる。
5	第10章 消毒法	[到達目標]消毒法の種類・方法・対象物について説明できる。
6	第10章 消毒法	[到達目標]消毒法の種類・方法・対象物について説明できる。医療従事者として必要な衛生環境の知識構築をし、実践できる。
7	第11章 疫学	[到達目標]疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。
8	第11章 疫学	[到達目標]疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。 実験疫学、分析疫学のうち提示された研究デザインに対して、リサーチクエスチョンの設定、簡便的に各デザインを組み立てる。
9	第11章 疫学	[到達目標]疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。

10	第12章　保健統計	[到達目標]我が国の衛生統計に関するげんじょうと変化・公衆衛生の問題点について理解する。 人口動態の5事象、平均余命とはなにか説明できる。
11	第12章　保健統計	[到達目標]我が国の衛生統計に関するげんじょうと変化・公衆衛生の問題点について理解する。 人口動態の5事象、平均余命とはなにか説明できる。
12	まとめ	まとめ
10	試験	試験

科目名【英】	東洋医学概論②【Outline of Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	1.2学期	曜　日	月曜	時　限	2限

担当教員	副田　恵子	実務者経験	1999年4月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	1年生で学んだ東洋医学概論の復習を取り入れ基礎知識を固めながら、続きP150第2章第3節～P311第5章第3節までの応用を理解し経絡経穴の分野を絡めながら深める。
到達目標	東洋医学の理解を深め、楽しみながら臨床や日常生活にも生かせるようにする。 はり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	重要ポイントの復習が必要。毎回の小テスト対策が重要。
使用教材	教科書「東洋医学概論」（東洋療法学校協会編）　配布プリント
留意点 備　考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	1年時の復習	1年時で学んだ生理物質、蔵象学説の理解の確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	経絡	経絡の概念・機能・構成・病理 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	病因病機	外感・内傷・その他の病因 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	病因病機	病機 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	陰陽学説	陰陽の相互関係 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	五行学説	五行の関係 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	五行学説	五行学説の運用 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	四診	望診 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	四診	聞診 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	四診	問診 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
11	1学期の復習	1年～1学期までの復習と前期試験の解説 80％の内容理解到達を目標とする。
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	1年時～1学期の復習	1年時～1学期で学ん理解の確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	四診	その他の問診　身体症状など 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	四診	疼痛　女性の月経など 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	四診	切診　反応や腹診など 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	四診	切経　脈診　四診合参 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	弁証論治	八綱弁証　気血津液弁証 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	弁証論治	臓腑弁証 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	弁証論治	六経弁証 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	弁証論治	治則 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	弁証論治	治法 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
11	2学期の復習	1年～2学期までの復習と前期試験の解説 80％の内容理解到達を目標とする。
12	試験	試験

履修上の注意

1．診断学には1年次の東洋医学概論の内容の理解が必要となるので、必ず復習をして下さい。

2．欠席した場合、次の授業までに必ず資料を取りに来て下さい。

3．単元終了時に小テストを行う予定です。成績に反映されますので欠席は避けて下さい。

科目名【英】	経絡経穴概論②【Outline of the Meridians and Acupuncuture Point】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	1学期	曜　日	金曜	時　限	1限

担当教員	駒井　知佳子	実務者経験	2009年4月～2014年6月不妊治療専門病院にて受胎鍼担当。 2014年4月桃の花針灸院開院。

学習内容	経絡と経穴の特徴を学び、経穴の場所や意義を学ぶ。
到達目標	取穴部位の習得（正確に取穴ができる）および治療穴として選穴できるようになる。 はり師きゅう師国家試験の出題される問題を理解し正確な解答を選択できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】新版　経絡経穴概論
留意点 備　考	1．講義と取穴実技を行う。 実技では取穴しやすい服装を用意すること。お互いに尊重しあって行うこと。 2．出席は自分で管理すること。

成績評価	本試験50%　平常点50%。平常点は授業中に行う小テスト等で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	足少陽胆経胆経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
2	足少陽胆経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
3	足少陽胆経③	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
4	足厥陰肝経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
5	足厥陰肝経② 奇穴①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
6	奇穴②	経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
7	身体指標触察テスト	
8	奇経	奇経八脈の流注の概要、取穴実技
9	経絡経穴学と現代医学	教科書p232～
10	経絡経穴学まとめ	
11	復習	
12	試験	試験

科目名【英】	はりきゅう理論②【ScientificFoundationofAcupuncture】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	2.3学期	曜　日	火曜	時　限	2限

担当教員	冨倉　捷矢	実務者経験	2018年4月～2021年3月　機能訓練士としてデイサービスに所属 2021年4月～2022年3月　鍼灸整骨院に所属　その後開業

学習内容	はり術、きゅう術のリスクとそれに対するリスク管理の方法を学ぶとともに、鍼灸治療の科学的な効果について学ぶ
到達目標	鍼灸治療の治療効果について現代医学的な実験やデータに基づく理論の習得。 鍼灸の治療効果に関連のある学説について学ぶ。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要
使用教材	【教科書】はりきゅう理論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講すること

成績評価	各学期に2回小テストを実施。期末試験70％＋小テスト20％＋出席点10％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	第7章　リスク管理	■　感染症対策の概要について ■　消毒レベル〔滅菌・消毒・洗浄〕について 目標：感染対策・消毒レベルを理解する。
2	第7章　リスク管理	■　器具の消毒方法〔オートクレーブなど〕 ■　器具の保管について 目標：器具の消毒方法・保管を理解する。
3	第7章　リスク管理	■　鍼療法の有害事象〔出血内出血・抜鍼困難・脳貧血・遺感覚〕 目標：鍼療法の有害事象を理解する。
4	第7章　リスク管理	■　鍼療法の有害事象〔気胸・折鍼・皮膚反応〕について ■　鍼治療による感染について 目標：鍼療法の有害事象・感染を理解する。
5	第8章　鍼灸治効	■　灸療法の有害事象〔灸痕の化膿・灸あたり〕について 目標：灸療法の有害事象を理解する。
6	第8章　鍼灸治効	■　関連学説 目標：関連学説を理解する。
7	第8章　鍼灸治効	■　運動系の調節 ■　反射運動 目標：運動系の解剖生理学・反射運動を理解する。
8	第8章　鍼灸治効	■　反射運動 ■　自律神経系の概要 目標：反射運動・自律神経系の解剖生理学を理解する。

9	第8章　鍼灸治効	■　自律神経の概要 ■　自律神経を介する反射 目標：自律神経系の反射を理解する。
10	第8章　鍼灸治効	■　自律神経を介する反射 ■　内分泌の概要 目標：内分泌系の解剖生理学を理解する。
11	復習・まとめ	振り返り・まとめ 目標：本学習の内容について確認をする。
12	定期試験	定期試験 目標：本学習の内容について修得している。

授業計画【内容･目標】		
1	第8章　鍼灸治効	■　体性感覚の概要 ■　神経線維 ■　脊髄伝導路 目標：体性感覚・神経線維・脊髄伝導路を理解する。
2	第8章　鍼灸治効	■　痛覚の概要 ■　内因性発痛物質 ■　関連痛 目標：痛覚について理解する。
3	第8章　鍼灸治効	■　温度覚 ■　触圧覚・振動覚 ■　固有感覚・内臓感覚 目標：感覚（温度覚・触圧覚・振動覚・固有感覚・内臓感覚）を理解する。
4	第8章　鍼灸治効	■　熱傷・炎症 ■　体表反応 ■　トリガーポイント 目標：熱傷・炎症と体表反応（トリガーポイント）を理解する。
5	第9章　鍼灸治効	■　鍼鎮痛 ■　内因性オピオイド ■　全身性鎮痛 目標：鍼鎮痛と全身性鎮痛を理解する。
6	第9章　鍼灸治効	■　全身性鎮痛 ■　循環系と鍼灸（軸索反射） 目標：軸索反射を理解する。
7	第9章　鍼灸治効	■　運動系と鍼 ■　消化器系と鍼 ■　泌尿器系と鍼 目標：運動系・消化器系・泌尿器系の鍼治効を理解する。
8	第9章　鍼灸治効	▪　リラクセーションと鍼灸 ▪　生体防御系と鍼灸 目標：リラクセーション・生体防御と鍼灸について理解する。
9	第10章　鍼灸治効	▪　鍼灸治効機序と臨床の接点 目標：鍼灸治効機序と臨床の接点を理解する。
10	復習・まとめ	振り返り・テスト対策 目標：本学習の内容について確認をする。

11	定期試験	定期試験 目標：本学習の内容について修得している。
12	復習・まとめ	定期試験の解答・解説・まとめ

科目名【英】	東洋医学臨床論① 【Clinical Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	76	単　位	5
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：火曜 2学期：水曜 3学期：月曜	時　限	2限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編）　配布資料・B5ファイル
留意点 備　考	特になし

成績評価	各学期に小テストを実施、学期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	治療総論	【現代医学的】治療原則・治療計画 【東洋医学的】治療原理・治療原則・選穴配穴原則
2	頭痛	現代医学的頭痛の分類　治療法 東洋医学的頭痛の鑑別　弁証
3	顔面痛と歯痛	現代医学的顔面痛の鑑別　適応疾患 東洋医学的弁証　症状～治療方針
4	顔面麻痺	現代医学的鑑別・分類 東洋医学的分類・鑑別・治療方針
5	眼精疲労 鼻閉　鼻汁	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証
6	めまい 耳鳴り　難聴	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
7	脱毛	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
8	咳嗽　喘息	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
9	胸痛　腹痛	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
10	悪心　嘔吐	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
11	ふりかえり	1学期内容まとめ
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	便秘　下痢①	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
2	便秘　下痢②	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
3	月経異常①	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
4	月経異常②	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
5	排尿障害①	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
6	排尿障害②	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
7	勃起障害	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
8	肩こり　頸肩腕痛	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
9	肩関節痛　上肢痛①	現代医学的考え方　適応疾患 腱板炎・上腕二頭筋長頭腱炎などの解説 適応疾患：胸郭出口症候群、絞扼神経障害 症状、所見、治療方針、処方例
10	肩関節痛　上肢痛②	現代医学的考え方　適応疾患 腱板炎・上腕二頭筋長頭腱炎などの解説 適応疾患：胸郭出口症候群、絞扼神経障害 症状、所見、治療方針、処方例
11	ふりかえり	2学期内容まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	肩関節痛　上肢痛	現代医学的考え方　適応疾患 腱板炎・上腕二頭筋長頭腱炎 胸郭出口症候群等　症状、所見、治療方針、処方例
2	腰下肢痛①	現代医学的考え方・適応疾患 筋筋膜性腰痛、坐骨神経痛、梨状筋症候群など
3	腰下肢痛②	現代医学的考え方・適応疾患 筋筋膜性腰痛、坐骨神経痛、梨状筋症候群など
4	運動麻痺①	絞扼神経障害 病態、症状、所見、治療方針など
5	運動麻痺②	絞扼神経障害 病態、症状、所見、治療方針など
6	運動麻痺③	絞扼神経障害 病態、症状、所見、治療方針など
7	高血圧　　低血圧	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など
8	不眠	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など

9	疲労　倦怠	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など
10	食欲不振　肥満	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など
11	試験	試験
12	発疹　小児の症状	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など

科目名【英】	東洋医学臨床論②【Clinical Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	2.3学期	曜　日	2学期：金曜 3学期：木曜	時　限	2学期1限 3学期１限

2学期担当教員	山本　岳	実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務

学習内容	徒手検査などの検査の施行、検査値について学習する。
到達目標	疾患の判断をおこない適切な徒手検査が行うことができる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK
留意点 備　考	

成績評価	平常点：30％【小テスト、課題提出：30点満点】　本試験：70％【筆記試験：100点満点】

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	運動器疾患の検査法	感覚検査、反射検査、徒手筋力検査、関節可動域検査 各種検査の概要を説明できる
2	血圧	血圧測定、血圧のメカニズム、高血圧 血圧測定の実施に必要な事項を列挙できる
3	頚部運動器疾患の検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 頚部各種検査法を説明できる
4	腰部運動器疾患の検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 腰部各種検査法を説明できる
5	上肢運動器疾患の検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 上肢各種検査法を説明できる
6	上肢運動器疾患の検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 上肢各種検査法を説明できる
7	上肢運動器疾患の検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 下肢各種検査法を説明できる
8	下肢運動器疾患の検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 下肢各種検査法を説明できる
9	徒手検査法	まとめ
10	神経系の検査法	脳神経系検査、感覚検査、反射検査 各種神経系検査法を説明できる
11	振り返り	試験説明、２学期振り返り
12	試験	

3学期 担当教員	坂井　優志	実務者経験	金沢武士団鍼灸整骨院　1年間勤務 まえいけ整骨院　1年半勤務

学習内容	徒手検査などの検査の施行、検査値について学習する。
到達目標	疾患の判断をおこない適切な徒手検査が行うことができる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK
留 意 点 備　　考	

成績評価	平常点：30％【小テスト：10点満点】　本試験：70％【筆記試験：100点満点】

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	実技	血圧・反射・関節可動域　実技
2	実技	頚部・胸郭出口部の鑑別検査
3	実技	肩関節の鑑別検査
4	実技	上肢(肘関節・手関節)の鑑別検査　今までのおさらい
5	実技	腰臀部の鑑別検査
6	実技	膝関節の鑑別検査
7	実技	主要関節の関節可動域検査
8	実技	主要な部位の筋力検査(MMT)
9	実技	神経疾患の検査
10	まとめ	まとめ、試験練習
11	試験	試験
12	試験	

科目名【英】	はりきゅう実技⑤～現代診断治療学I～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	火曜	時　限	1限目

担当教員	清藤　直人	実務者経験	2002年～　清藤鍼灸院にて鍼灸治療などを担当 2007年～　同院院長として業務に従事

学習内容	整形外科的疾患を重点的に学んでいく。徒手検査などを用いて疾患を鑑別し、症状に伴う治療を学ぶ。
到達目標	①　病的反射、徒手検査、徒手筋力検査法を修得し、疾患を鑑別できるようになる。 ②　現代医学的EBMに基づく施鍼技術の修得、それに基づく東洋医学的治療の修得

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布プリント、ずっと使える！鍼灸臨床BOOK（滋慶出版）
留意点 備　考	

成績評価	本試験60%、小テスト40%	

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	自己紹介、バイタルサインの理解、一年生の基礎実技の自己評価確認
2	基礎実技	技術の確認、体表観察能力検定
3	頚部疾患の診察・検査・治療①	頚椎症性神経根症と頚椎症性脊髄症の理解。病的反射の修得
4	頚部疾患の診察・検査・治療②	頚椎症に対する局所、遠隔治療（使用鍼：寸３－1番）
5	胸郭出口症候群の診察・検査・治療①	斜角筋症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
6	胸郭出口症候群の診察・検査・治療②	肋鎖症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
7	胸郭出口症候群の診察・検査・治療③	過外転（小胸筋）症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
8	1学期復習①	頚部、胸郭出口症候群に対する病的反射、徒手検査の理解と確認
9	1学期復習②	頚部、胸郭出口症候群に対する治療穴の理解と確認
10	1学期復習③	頚部、胸郭出口症候群に対する治療穴の理解と確認
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	肩関節痛の診察・検査・治療①	上腕二頭筋長頭腱炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
2	肩関節痛の診察・検査・治療②	腱板炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
3	肩関節痛の診察・検査・治療③	肩峰下インピジメント症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
4	肩関節痛の診察・検査・治療④	肩峰下滑液包炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
5	肘関節痛の診察・検査・治療	上腕骨外側上顆炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
6	上肢末梢神経障害の診察・検査・治療①	絞扼性尺骨神経麻痺を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
7	上肢末梢神経障害の診察・検査・治療②	絞扼性正中神経麻痺、ド・ケルバン病を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
8	2学期復習①	肩関節痛、肘関節痛、上肢末梢神経障害に対する病的反射、徒手検査の理解と確認
9	2学期復習②	肩関節痛、肘関節痛、上肢末梢神経障害に対する治療穴の理解と確認
10	2学期復習③	肩関節痛、肘関節痛、上肢末梢神経障害に対する治療穴の理解と確認
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	腰下肢痛の診察・検査・治療①	非特異的腰痛、腰部脊柱管狭窄症を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸6－2番）
2	腰下肢痛の診察・検査・治療②	坐骨神経痛を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
3	仙腸関節痛の診察・検査・治療	仙腸関節炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
4	股関節痛の診察・検査・治療	股関節障害を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
5	腰下肢痛の診察・検査・治療③	椎間板ヘルニアを鑑別する病的反射、徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
6	膝関節痛の診察・検査・治療	半月板、側副靱帯、十字靱帯損傷を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
7	下肢の診察・検査・治療	スポーツ障害、足関節、捻挫、足底筋膜炎に対する治療（使用鍼：寸３－１番）
8	3学期復習①	頚部、胸郭出口症候群に対する病的反射、徒手検査の理解と確認
9	3学期復習②	頚部、胸郭出口症候群に対する治療穴の理解と確認
10	試験	試験
11	試験	試験

12	応用編	西洋医学と東洋医学を融合した治療の取り組み

科目名【英】	はりきゅう実技⑥～中医診断治療学Ⅰ～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	火曜	時　限	3限

担当教員	一井　綾乃	実務者経験	1996年4月～鍼灸院所属、 1996年7月～2013年3月大阪医大付属病院麻酔科ペインクリニック所属

学習内容	中医学的な観点からの診断学・治療学を学ぶ。
到達目標	四診の切診（脈診・腹診）、望診（舌診）の基本的な技術を身につけ、主要症候に対して中医学的な診断・治療を行えるようにする。

準備学習 時間外学習	東洋医学概論、経絡経穴学を復習する。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	鍼は通年1寸3分の１，２，３番鍼を使用する。

成績評価	平常点として1分間の片手挿管、5分間の紙上施灸、舌診、脈診、腹診、小テストを実施。本試験は筆記試験20%、実技試験60%、平常点20%で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明、2年次終了時までの到達目標を把握する。
2	四診１	四診とは何かを学習し、舌診のやり方を理解する。
3	四診２	舌診の練習。クラスとしての舌診の基準の決定をする。
4	四診３	脈診とは何かを学習し、脈診のやり方を習得する。
5	四診４	腹診とは何かを学習し、腹診のやり方を習得する。
6	概論１	病証式
7	概論２	伝変と波及１
8	概論３	伝変と波及２
9	まとめ	試験の内容を理解し、練習する。
10	まとめ	1学期の内容を振り返り、復習する。
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	気血津液病証１	気虚・気滞について学習し、証をたて治療することができる。
2	気血津液病証２	血虚・血瘀について学習し、証をたて治療することができる。
3	気血津液病証３	陰虚・陽虚について学習し、証をたて治療することができる。
4	気血津液病証４	実熱について学習し、証をたて治療することができる。
5	気血津液病証５	痰湿・食滞について学習し、証をたて治療することができる。
6	気血津液病証６	湿熱について学習し、証をたて治療することができる。
7	治法	治法について学習し、治療の方針を立てることができる。
8	気血津液病証７	風寒犯肺、風熱犯肺、腎精不足について学習し、証をたて治療することができる。
9	まとめ	試験の内容を理解し、練習する。
10	まとめ	2学期の内容を振り返り、復習する。
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	複合的な病証１	肺脾気虚、肺腎気虚の病証について理解し、治療することができる。
2	複合的な病証２	心肝血虚、心脾両虚の病証について理解し、治療することができる。
3	複合的な病証３	心肝火旺、肝火犯肺の病証について理解し、治療することができる。
4	複合的な病証４	心腎不交の病証について理解し、治療することができる。
5	複合的な病証５	心腎陰虚、肝腎陰虚、肺腎陰虚の病証について理解し、治療することができる。
6	複合的な病証６	心腎陽虚、脾腎陽虚の病証について理解し、治療することができる。
7	複合的な病証７	肝脾不和の病証について理解し、治療することができる。
8	六十九難	六十九難について理解する。
9	まとめ	試験の内容を理解し、練習する。
10	試験	試験
11	試験	試験
12	振り返り	1年間の内容を理解し、復習する。

科目名【英】	はりきゅう実技⑦～中医診断治療学Ⅱ～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】 はりきゅう実技⑦～臨床はりきゅう実技～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	金曜	時　限	2限

1.2学期担当教員	丸茂　美保子	1.2学期実務者経験	1992年～2004年　鍼灸院や整形外科に所属 2004年～2014年　教員養成・専門学校専任教員　2014年開業

1・2学期学習内容	1学期：部位別に触診し硬結・張りがどこにあるか、全身を観察して左右での違い冷たい部位や他より温かい部位がないか観察する。 2学期：5回程度　症例を用いて東洋医学的に証立てをする。それ以降はグループワーク
1・2学期到達目標	1学期：全身の観察（左右での違い・温度差・長さなど）ができるようにする。硬結・張りを触診でき硬結や張りの部位に刺鍼し硬結に刺さった感覚・弛んだ感覚を習得する。 2学期：症例を東洋医学的に思考できる。処方穴の穴性を理解し臨床実習や臨床で使えるツボを増やす。

準備学習時間外学習	東洋医学概論　東洋医学臨床論　解剖学（筋肉）を使用しながら行う
使用教材	［教科書］東洋医学概論　東洋医学臨床論（はりきゅう編）解剖学（筋肉）滋慶共通テキスト ［プリント］プリントで学習する。
留意点 備　考	2学期　必要なテキストを持参する

1・2学期成績評価	1学期：本試験80点　平常点20点（プリントへの記載内容は平常点に含む） 2学期：本試験70点　ペーパー試験20点　平常点10点

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	授業の進め方・評価についての説明、施術力の確認
2	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
3	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
4	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
5	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
6	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
7	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
8	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
9	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
10		試験前　まとめ

11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
2	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
3	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
4	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
5	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
6	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
7	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
8	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
9	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
10		試験前　まとめ
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期 担当教員	酒井　美登子	3学期 実務者経験	2002年～2004年　整形外科リハビリ室にてあまし師として従事 2008年～　専門学校にて非常勤講師として従事 2009年～　開業

3学期 学習内容	身体部位別刺鍼技術の習得（硬結部位・虚実部位・安全深度）またその部位にある経穴の穴性を学ぶ。 臨床実習に向け、問診・検討・処方をグループで行い、施術し結果を確認する。
3学期 到達目標	身体の状態に合わせた刺鍼ができるようにする。また臨床実習に向けて各自で診断・処方が出来るようにする。

準備学習 時間外学習	東洋医学臨床論（はりきゅう編）に目を通しておく。
使用教材	［教科書］東洋医学臨床論（はりきゅう編）、滋慶共通テキスト、鍼灸マニュアル ［プリント］各回２０～３０分程度プリントで学習する。
留意点 備　考	授業前後の挨拶は、人間関係の基本です。しっかり挨拶してください。

3学期 成績評価	本試験　６０点　　平常点　40点

3学期　授業計画【内容･目標】			
1	東洋医学臨床論	Ⅰ	腰痛・腰下肢痛
2		Ⅱ	頸・肩部のこり・痛み
3		Ⅲ	膝痛・運動麻痺
4		Ⅳ	月経異常・排尿障害・ＥＤ
5		Ⅴ	高血圧・低血圧
6		Ⅵ	特別講義　小児はりの実際
7		Ⅶ	悪心と嘔吐・便秘・下痢
8		Ⅷ	食欲不振・肥満
9		Ⅸ	特別講義　漢方薬の煎じを味わう
10	試験		試験
11	試験		試験
12	総括		試験の講評、今後の課題

科目名【英】	はりきゅう実技⑧～特殊鍼法I～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：水曜 2学期：木曜 3学期：水曜	時　限	1学期：2限 2学期：2限 3学期：3限

1学期担当教員	伊佐治　景悠	実務者経験	2018年明治国際医療大学大学院　博士後期課程　修了 2018年～SR鍼灸グループ総院長

1学期	
学習内容	現代医学的な観点からの臨床技術を学ぶ。解剖学や生理学に基づいた刺入理論を理解する。
到達目標	狙ったポイントに刺入と刺激ができ臨床現場で実践できる技術レベルに到達することを目的とする。

準備学習 時間外学習	日々の練習
使用教材	鍼　通電機器
留意点 備　考	

成績評価	定期試験100％（60点以上で合格）

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	刺入の基礎①	直刺、斜刺、横刺など刺鍼の基本
2	刺入の基礎②	刺鍼部位や目的に合わせた刺手と押手の基本
3	鍼通電刺激	通電器の使用方法と臨床的意義
4	鍼鎮痛	下行性痛覚抑制系の賦活と局所鎮痛
5	頸肩部刺鍼	運動鍼などを活用した硬結へのアプローチ
6	腰部刺鍼	傍脊柱筋や腰方形筋などへのアプローチ
7	膝関節刺鍼	変形性膝関節症などへのアプローチ
8	中髎刺鍼	中髎の取穴と骨膜刺激
9	陰部神経刺鍼	刺鍼部位の取穴と陰部神経刺激
10	総復習	各刺鍼方法の復習
11	試験	実技試験
12	試験	実技試験

2学期 担当教員	佐々木　友子	実務者経験	2007年～2015年　専門学校にて講師 2008年～　鍼灸治療院などにて鍼灸治療に従事

学習内容	臨床でよく診る症状に対する基本的な治療について
到達目標	実践的な鍼灸治療の基本を身に付ける、知熱灸をできるようになる。

準備学習 時間外学習	日々、片手挿管と施灸の練習、経絡経穴を覚える
使用教材	配布プリント
留 意 点 備　　考	疑問点があればすぐに質問をすること

成績評価	実技試験

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	望診・切診	仰臥位にて、診るポイント＆確認するポイントについて
2	望診・切診	伏臥位にて、診るポイント＆確認するポイントについて
3	肩こりの治療	弁証、治療法、実技指導
4	倦怠の治療	弁証、治療法、実技指導
5	腰痛の治療	弁証、治療法、実技指導
6	頭痛の治療	弁証、治療法、実技指導
7	便秘の治療	弁証、治療法、実技指導
8	風邪の治療	弁証、治療法、実技指導
9	月経前症候群の治療	弁証、治療法、実技指導
10	振り返り・まとめ	２学期の振り返り・まとめ、試験対策
11	定期試験	定期試験
12	定期試験	定期試験

3学期 担当教員	中西満美子	実務者経験	・2007年～　鍼灸専門学校の非常勤講師として12年勤務。 ・2005年より鍼灸院での臨床経験20年、2012年に開業。

3学期	
学習内容	・様々な鍼灸技術や道具に触れ、実践してみる。 ・体の診方・問題点の見つけ方を深め、臨床に活かせる知識を増やす。
到達目標	・よく使う経穴を正しく取穴できるようになる。 ・基本から発展した刺鍼・施灸法を怖がらずに実践できるようになる。

準備学習 時間外学習	・経絡の走行・背部兪穴や主要経穴の取穴等を確認をしておく。 ・刺鍼に自信がない場合は、刺鍼の機会を増やして練習する。
使用教材	授業の際に配布する資料。自身の必要に応じて、経絡経穴・解剖等の教科書や書籍
留意点 備　考	わからないことや自信がないことはそのままにせず、積極的に質問し、友人とも共有してください

成績評価	出席・授業への積極性　１０%、実技試験　９０%

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	短鍼の活用法	主に顔面に使用される五分鍼の様々な活用法を知り、痛みが少なく効果的な施術を学ぶ
2	長鍼の活用法	二寸、三寸の長い鍼を安全に効果的に使用する方法を学ぶ
3	皮内鍼	施術効果の持続が期待できる皮内鍼の活用法を学ぶ
4	粒鍼・円皮鍼	粒鍼・円皮鍼を使用して、耳や末梢の要穴に対する施術ができるようになる
5	灸頭鍼①	鍼と温灸の効果を同時に得られる灸頭鍼を安全に施術できるようになる
6	灸頭鍼②	手足など斜めになる部位への灸頭鍼や、腹部への施術の工夫を学ぶ
7	奇経治療	症状と腹診から問題のある奇経を見つけ、効果を出せる施術を学ぶ
8	三焦鍼法	脳疾患後遺症等にも効果が期待できる全身治療を学ぶ
9	盤龍刺	華陀挟脊穴を使った背部からの全身治療を学ぶ
10	試験	試験
11	試験	試験
12	身体の診方と整え方	教科書通りではない身体の診方と整え方を知り、その後の施術が効きやすい環境作りを学ぶ

科目名【英】	臨床実習①【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	60	単　位	1
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：木曜 3学期：木曜	時　限	1学期：3限 3学期：2限

1学期 担当教員	山本　岳	1学期 実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務
3学期 担当教員	髙木　健之	3学期 実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当
3学期 担当教員	中村　沙樹	3学期 実務者経験	医療法人社団汐咲会　しおさき鍼灸施術所　など　11年

学習内容	3年次の臨床実習で必要な医療面接やカルテ記載の方法など、実習を通して獲得する。
到達目標	医療面接において必要な情報をスムーズに聴取することができる。 カルテ記載において、医療面接より得た情報を詳細にまとめることができる。

準備学習 時間外学習	自身でかかったことのある医療機関のことを思い出してみる。
使用教材	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK　配布資料など
留意点 備　考	健常者への聴取になるが、患者役の訴えを親身に聴くようにする。

成績評価	出席点【1学期は実技試験の評価も加味する】＋レポート評価　※原則100%の出席にて評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	医療面接①	オリエンテーション 医療面接について　方法論や聴取する内容についての講義
2	医療面接②	医療面接実技 患者役と施術者役に分かれそれぞれ医療面接をおこなう
3	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
4	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
5	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
6	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
7	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
8	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
9	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
10	物理療法	超音波治療器、低周波治療器、鍼通電治療器、電子温灸器の使用方法
11	物理療法	超音波治療器、低周波治療器、鍼通電治療器、電子温灸器の使用方法
12	物理療法	超音波治療器、低周波治療器、鍼通電治療器、電子温灸器の使用方法

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
2	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
3	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
4	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
5	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
6	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
7	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
8	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
9	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
10	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
11	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
12	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	鍼灸臨床研究	鍼灸の臨床研究について知る
2	鍼灸臨床研究	自分の興味がある研究を調べてみる
3	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
4	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
5	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
6	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
7	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ
8	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ
9	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする
10	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする
11	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする
12	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする